

使用上の注意点 (Alert Notes)

ご使用前に必ずお読みください。

Windows 版 SAS システム リリース 6.12 TS045 DBCS2818

1. 導入時の注意点

- 1.1 SAS システムの CD-ROM を読み取る際に、ごくまれに次のようなエラーが発生し CD-ROM を読み取れない場合があります。

(X:ドライブは、CD-ROM ドライブを表します)

Error: ドライブ X: は読み取れません。

CDR101: Not ready 読み取り中 ドライブ X
中止(A), 再試行(R), 失敗(F)?

CD-ROM を読み取ることができない原因のほとんどは、CD-ROM ドライバや MSCDEX.EXE プログラムに問題があるためです。各 CD-ROM ドライブメーカーから最新の CD-ROM ドライバを入手するか、ネットワーク上の別のマシンの(SAS システムの CD-ROM を読み取ることができる)CD-ROM ドライブをローカルマシンのドライブに割り当てた上でインストールを行ってください。

2. Base SAS ソフトウェア

- 2.1 日本電気 PC98 シリーズ用の Windows 3.1 または Windows 95 をお使いの場合、DATA ステップ中の計算式でゼロ除算が発生すると SAS システムが強制終了してしまいます。

これを回避するには、除数がゼロ以外の場合にのみ除算を行うように SAS のプログラムを修正してください。

対応例

修正前

```
c=a/b;
```

修正後

```
If b=0 then c=.;
```

```
else c=a/b;
```

これは、PC98 シリーズ用の Windows 3.1 または Windows 95 に含まれる浮動小数演算処理の例外ハンドリングに不具合が存在することが原因です。

- 2.2 DDE 機能を利用して Microsoft Excel **Version 7**(以下 MS-Excel)とデータのやり取りを行う場合、次のようなエラーが出力されることがあります。

ERROR: excel | c:¥myxls¥[class.xls]sheet1!r1c1:r19c5 がありません。

これを回避するには FILENAME ステートメントの DDE トリプレットの記述を次の 1 または 2 のように変更してください。

1. MS-Excel ファイル名の前にディレクトリ名を記述しないようにします。

例)

変更前 filename fileref dde 'excel | c:¥myxls¥[class.xls]sheet1!r1c1:r19c5';

変更後 filename fileref dde 'excel | [class.xls]sheet1!r1c1:r19c5';

2. MS-Excel ファイル名の前に記述されているディレクトリの区切り文字を¥¥に変更します。

例)

変更前 filename fileref dde 'excel | c:¥myxls¥[class.xls]sheet1!r1c1:r19c5';

変更後 filename fileref dde 'excel | c:¥¥myxls¥¥[class.xls]sheet1!r1c1:r19c5';

これは、Microsoft Excel Version 7 で DDE Topic の指定方法が変更されたためです。**この問題は、Microsoft Excel Version 5 との間でデータのやり取りを行う場合には発生しません。**

また、特殊ファイル名 CLIPBOARD を使用して **Microsoft Excel Version 7** との間でデータのやり取りを行うとき、DDE Topic に MS-Excel ファイルの存在するディレクトリ名が含まれているとエラーになります。

(例) filename fileref dde 'clipboard';

ERROR: clipboard がありません。

これは、Microsoft Excel Version 7 が正しい DDE Topic をクリップボードに渡さないためです。

- 2.3 デスクトップウィンドウおよびデスクトップウィンドウから起動した SAS エクスプローラウィンドウなどで、ツールバーのヘルプアイコンをクリックして、ヘルプを表示すると、次のようなエラーになります。

ERROR: ヘルプがありません。

デスクトップのヘルプを参照するには、メニューバーの『ヘルプ』をクリックし、先頭の項目を

選択してください。

2.4 Qualcomm 社の Eudra(電子メールアプリケーション)を使用していると、SAS システムの DATA ステップや SCL プログラムから電子メールを送信する時に、Eudra のウィンドウが表示されてしまいます。この問題についてはすでに Qualcomm 社も了解済みです。

2.5 Windows 95 または Windows NT 上では SAS VIM(Vendor Independent Messaging)インタフェースは動作しません。従いまして、Lotus cc:Mail や Lotus Notes のような VIM に準拠した電子メールクライアントアプリケーションを使用して SAS システムから電子メールを送信することはできません。

これは、SAS VIM ドライバが 32bit 化されていないためです。

2.6 SAS システムが浮動小数演算処理を行っている最中に、Microsoft Plus! for Windows 95 に付属するシステムエージェントを実行すると、計算結果が精度落ちする場合があります。この問題に対応した修正ファイルが Windows 95 Service Pack1 に含まれています。

Windows 95 Service Pack1 は、Microsoft 社の Web サイト(<http://www.microsoft.co.jp/>)からダウンロードできます。

2.7 SAS システムから Lotus Notes アクセス方式を使用した場合、Lotus Notes のキーワードリストで定義されていない値をキーワードフィールドに書き込むことができます。

例えば、Lotus Notes データベースのフォーム中に *Yes* または *No* のみの値を持つことができるキーワードフィールド *accept* を作成し、これに対して SAS システムから次のプログラムをサブミットすると、*accept* フィールドに不正な値 *Maybe* が書き込まれます。

```
filename tryit notesdb ' ';
data _null_;
  file tryit;
  put '!nsf_db!test.nsf';
  put '!nsf_field!accept!Maybe';
run;
```

2.8 Lotus Notes で新規にデータベースを作成しそれが一度も更新されていない場合、SAS システムから Lotus Notes アクセス方式を使用してそのフィールドに書き込みを行うとエラーが発生します。データベースを新規に作成した場合には、Lotus Notes で必ずそのフィールドを更新してください。そうしないと、SAS システムは Lotus Notes のフィールドを正しく識別できません。

例えば、ある Lotus Notes データベースに新規に *field1* という名前のフィールドを作成し、それを更新しないまま、SAS システムからこのフィールドにアクセスすると次のエラーが表示されます。

```
ERROR: Field "field1" type is not supported.
```

- 2.9 Windows NT Workstation を Novell NetWare サーバのクライアントとして使用している場合に、Windows NT 上の SAS システムから NetWare サーバ上のファイルを更新しようとするときエラーが発生することがあります。

これは、Windows NT Workstation がネットワークを通じて NetWare サーバから SAS システムに誤ったデータを渡すためです。NetWare サーバ上のファイルを Windows NT Workstation 上に移動させるとエラーは発生しなくなります。

Windows NT Workstation 4.0 では、この問題は修正されています。

なお、この問題に関しては次のようなエラーが報告されています。

1. データセットやカタログを更新するために、DATA ステップや PROC ステップをサブミットすると、次のようなエラーが発生する。

```
ERROR: Invalid namestr for file xxxxxxxx
      または
ERROR: Invalid page number N on file xxxx.yyyy.zzzz
```

- 2.10 SQL Query Window オンラインマニュアルに記載されているサンプルテーブル EMPLOYEE を使用するためには、RUNSAMPL プログラムを実行する必要があります。次の手順に従って RUNSAMPL プログラムを実行してください。

1. ライブラリ参照名 SAMPLE を割り当てます。

```
libname sample '!SASROOT¥core¥sample';
```

2. 次のステートメントをコマンド行に入力して、PROGRAM EDITOR に RUNSAMPL プログラムを読み込みます。

```
include '!SASROOT¥base¥sample¥runsampl.sas'
```

3. 読み込んだプログラムをサブミットします。

- 2.11 リモートの名前付きパイプサーバに対して、Windows 95 環境のクライアントマシンから名前付きパイプによる接続を複数行った場合、接続の状態が不安定になります。これはオペレーティングシステムにより不正なハンドルが返されるためです。この問題は、それぞれの接続の間でプログラムを一時的に停止させることにより回避できます。

例えば、次のように名前付きパイプによる接続の間に sleep()関数を挿入します。

```
filename control namepipe '¥¥svr¥pipe¥control' client retry=-1;

data _null_;
  file control;
```

```

...
put x;
rc = sleep(3);      /* 3秒間停止 */
fileout='¥¥svr¥pipe¥line1';
file data filevar=fileout device=namepipe client retry=-1;
rc = sleep(3);      /* 3秒間停止 */
put y;
...
run;

```

3. SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース

3.1 使用する OS に応じてそれぞれ次の種類の ODBC ドライバが必要となります。

| OS | ODBC ドライバ |
|----------------------|-----------------------|
| Windows 3.1 + Win32s | 16bit ODBC ドライバが必要です。 |
| Windows 95 | 32bit ODBC ドライバが必要です。 |
| Windows NT | 32bit ODBC ドライバが必要です。 |

例えば、Windows 95 上で SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェースを使用して Oracle7 のデータにアクセスするためには、32bit の Oracle7 用 ODBC ドライバが必要となります(16bit の Oracle7 用 ODBC ドライバでは動作しません)。

3.2 Windows NT 4.0 上で Microsoft Jet データベースエンジン 3.0(以下 Jet3.0)を利用する ODBC ドライバ(Microsoft Excel ドライバなど)を使用した場合、SAS システムが異常終了する場合があります。

この問題を回避するためには、Microsoft 社の Web サイト (<http://www.microsoft.co.jp/developer/vbasic/download/jet.htm>)から Jet3.0 アップデートモジュールをダウンロードしてください。

4. SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース

4.1 SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースは、Windows 95、Windows NT 上で動作し、Windows 3.1 上では動作しません。

5. SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェース

5.1 SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェースでは、現在、Microsoft Excel 97(以

下 Excel 97)形式のデータをサポートしていません。Excel 97 形式のデータを読み込もうとすると次のエラーが発生します。

Unexpected OLE2 file manipulation error (-2147287038)

この場合、Excel 97 で当該データを[Microsoft Excel 97 および 5.0/95 ブック]の形式で保存し直してください。

- 5.2 SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェースでは、現在、Lotus 1-2-3 97(以下 Lotus 97)形式のデータをサポートしていません。Lotus 97 形式のデータを読み込もうとすると次のエラーが発生します。

・読み込みウィザード

File selected must have the extension '.wkn'

・ACCESS プロシジャ

Database error. Examine fields or messages below

The file extension, 123, is invalid.

この場合、Lotus 97 で当該データを、以前のリリースの形式(WK n)で保存し直してください。

6. SAS/CONNECT ソフトウェア

- 6.1 SAS/CONNECT ソフトウェアのオンラインドキュメント「SAS/CONNECT ソフトウェア リリース 6.11 における変更点と拡張点」には、-INSTALL オプションを指定してインストールした場合、スポーナプログラムは標準のパラメータの設定のまま Windows NT のサービスとしてインストールされると記述されています。また、この場合デフォルトの設定を変更するにはレジストリを直接編集するように記載されていますが、レジストリを直接編集せずに次のように-INSTALL オプションと共に他のオプションを指定してスポーナプログラムを起動してください。

(例) C:¥SAS > connect¥sasexe¥spawner -install -comamid tcp -file c:¥gosas.bat

なお、レジストリを直接編集する場合には、レジストリエディタ(regedt32.exe)を起動する前に、レジストリファイルのバックアップを取っておくことをお勧めします。

- 6.2 Windows NT 環境で、既にサービスとしてインストールされているスポーナプログラムを再インストールするには次のようにしてください。

1. [コントロールパネル]の[サービス]アイコンをダブルクリックし、[SAS job spawner]の行を

- 選択して、[停止(T)]ボタンをクリックします。
2. DOS コマンドプロンプトから-DELETE オプションを指定してスポーナプログラムを実行します。

(例) spawner -delete

3. スポーナプログラムを再インストールします。
4. 1.と同様にして、[SAS job spawner]の行を選択し、今度は[開始(S)]ボタンをクリックし、スポーナプログラムを開始します。

スポーナプログラムについての詳細は、SAS/CONNECT ソフトウェアのオンラインドキュメント「SAS/CONNECT ソフトウェア リリース 6.11 における変更点と拡張点」を参照してください。

- 6.3 Windows NT 環境で、DECnet がインストールされているマシンで SPX アクセス方式を使用すると次のエラーが発生する場合があります。

ERROR: Network request failed (rc 0x43) - Error message is
10051 - WSAENETUNREACH

この現象は Windows NT の[コントロールパネル]の[ネットワーク]アイコンで Pathworks for Windows NT を削除し、マシンを再起動することにより回避できます。

この問題は「SAS Notes」V6-SPX-B848 に記述されています。

- 6.4 次の条件をすべて満たす場合、SAS/CONNECT サーバ上のデータセットを損傷することがあります。

1. リリース 6.11 TS040 以降の SAS システムを **Windows 95** 環境で実行し、リモートの SAS/CONNECT サーバに、**APPC** アクセス方式により接続している。
2. APPC プロトコルスタックを利用するために Microsoft SNA Server Windows 95 クライアントソフトウェア Version 2.11 を使用している。
3. Windows 95 クライアントソフトウェアが、LAN トランスポートに TCP/IP を使用するよう設定されている。

この問題を回避するには、Windows 95 クライアントソフトウェアの LAN トランスポートに TCP/IP を使用せずに IPX/SPX または名前付きパイプを使用してください。

この問題は、日本語版 Microsoft SNA Server Version 3.0 で修正されています。また、この問題の詳細が「*Microsoft Knowledge Base Article ID: Q157218*」に記載されています。

- 6.5 Windows 版 SAS システム 6.12 TS045 をリモートホストの SAS システムとして使用する場合、DOWNLOAD プロシジャ実行時に次のエラーが発生する問題があります。

ERROR: パートナが対話を中止しました .

ERROR: xxxxxxxx へのリモートサブミットを取り消しました .

その場合は、この資料の「13.その他」を参照の上、修正ファイル DOWNLOAD.LZH ファイルをダウンロードしてください。ファイルを解凍し、README.TXT を参照して、修正ファイルをコピーしてください。

- 6.6 リモートライブラリサービス利用時、次のようなエラーが発生して、日本語を含むパスにリモートライブラリを割り当てられない場合があります。その場合は、日本語を含まないパス名に変更してください。

NOTE: RHOST へのリモート接続を完了しました .

```
777 libname rlib 'd:¥日本語' server=rhost;
```

NOTE: ライブラリ _LN00040 は存在しません .

7. SAS/EIS ソフトウェア

- 7.1 グラフ対比分析レポートオブジェクトでは、初めのサブグループの棒グラフの棒のカラーが誤って表示される場合があります。この現象は、グラフ内に良好、不調の両方の棒が存在する場合に発生します。

例えば、不調時のカラーで表示されなければならないものがいくつか含まれているのに全ての棒が良好時のカラーで表示されることがあります。

この問題は「SAS Notes」V6-EIS-C906 に記述されています。

8. SAS/ETS ソフトウェア

- 8.1 MODEL プロシジャにおいて、 $y = -a + b*x$; のように切片パラメータに負の符号を付けたモデル式を指定し、GMM 法で推定したときに、間違った結果が出力されたり収束しなくなる場合があります。この問題を回避するには、切片パラメータに対する符号が負にならないようにモデル式を指定してください。

この問題は「SAS Notes」V6-MODEL-C938 に記述されています。

9. SAS/FSP ソフトウェア

- 9.1 FSVIEW プロシジャでウィンドウに入りきらないような長さの文字変数の値を更新した場合、更新された値はウィンドウに表示されていた長さに切りつめられます。

この問題は「SAS Notes」V6-FSVIEW-C730 に記述されています。

10. SAS/SHARE ソフトウェア

10.1 次の条件をすべて満たす場合、SAS/SHARE サーバ上のデータセットを損傷することがあります。

1. リリース 6.11 TS040 以降の SAS システムを **Windows 95** 環境で実行し、リモートの SAS/SHARE サーバに、**APPC** アクセス方式により接続している。
2. APPC プロトコルスタックを利用するために Microsoft SNA Server Windows 95 クライアントソフトウェア Version 2.11 を使用している。
3. Windows 95 クライアントソフトウェアが、LAN トランスポートに TCP/IP を使用するよう設定されている。

この問題を回避するには、Windows 95 クライアントソフトウェアの LAN トランスポートに TCP/IP を使用せずに IPX/SPX または名前付きパイプを使用してください。

この問題は、日本語版 Microsoft SNA Server Version 3.0 で修正されています。また、この問題の詳細が「*Microsoft Knowledge Base Article ID: Q157218*」に記載されています。

11. SAS/STAT ソフトウェア

11.1 特殊変数 `_WHEIGHT_` の導関数（と DUD 法でも用いられる差分）は、パラメタに関して計算されません。すなわち、変数 `_WHEIGHT_` がパラメタの関数であったとき、目的関数（SSE）の勾配やヘシアンには寄与しません。反復再重みつき最小二乗法（IRLS）を実行するときには、この設定は望ましいものです。ユーザ指定の損失関数を使った推定を実行したいときには、この設定は望ましくありません。

この問題は「SAS Notes」V6-NLIN-D106 に記述されています。

12. SAS/TOOLKIT ソフトウェア

12.1 オンラインドキュメント「SAS/TOOLKIT リリース 6.12 の変更点と拡張点」の中の[アプリケーション開発環境]の[コンパイラ]セクションには次のように記載されています。

"... toolkit applications built using Microsoft (R) Visual C++ Development System for Windows and Windows NT, Version 4.2 and higher, will not run on Win32s."

(「Microsoft (R) Visual C++ Development System for Windows and Windows NT, Version 4.2 以降を用いて作成された SAS/TOOLKIT アプリケーションは、Win32s 環境では動作しません。」)

SAS/TOOLKIT アプリケーションを Windows 3.1(Win32s)の環境で使用するためには、Microsoft Visual C++ Version 1.0 が必要となります。Version 1.0 より後のバージョンを使用してコンパイルされたアプリケーションは、起動時に MSVCRT40.DLL に関するローディングエラーメッセージを表示して実行できない場合があります。

12.2 オンラインドキュメント「SAS/TOOLKIT リリース 6.12 の変更点と拡張点」には FORTRAN 言

語に関する説明がありますが、FORTRAN 言語用 SAS/TOOLKIT アプリケーションは Windows 版 SAS システムの CD-ROM には含まれていません。Windows 版 SAS システムリリース 6.12 では C 言語用 SAS/TOOLKIT アプリケーションのみが正式サポートの対象となり、FORTRAN 言語用は評価版となります。

Windows 環境で FORTRAN 言語用 SAS/TOOLKIT アプリケーション(評価版)をご使用になりたいお客様は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

13. その他

SAS インスティテュートジャパンは、製品出荷後に発見された不具合に対する修正モジュールやマニュアルに記載されていない最新の情報等を次のサービスにより提供しています。

13.1 NIFTY-Serve SAS ステーション

GO SAS コマンドで SAS ステーションへアクセスし、
[4.データライブラリ] [メンテナンスモジュール]を選択して最新の修正モジュールを入手することができます。
また、[4.データライブラリ] [ドキュメント]を選択して最新情報等をご覧頂けます。

13.2 WWW(World Wide Web)

WWW ブラウザを用いて、SAS インスティテュートジャパンのホームページ (<http://www.sas.com/japan/>)にアクセスし、
[テクニカルサポート] [FTP サービス] [FTP サービス---サーバに接続] [maint/] を選択して最新の修正モジュールを入手することができます。
また、[テクニカルサポート] [SAS FAQ]、[SAS HOW-TO]、[SAS Notes (Version 6)]等を選択して最新情報等をご覧頂けます。

13.3 Anonymous FTP サービス

ftp コマンドを用いて、米国 SAS Institute Inc.の FTP サーバ(<ftp.sas.com>)にアクセスし、
`/pub/webfiles/Japan/maint` ディレクトリに移動して、最新の修正モジュールを入手することができます。

ユーザ ID、パスワードは以下のように入力してください。

```
% ftp ftp.sas.com
ftp> Name(ftp.sas.com:userid): anonymous
ftp> Password: お客様の E-mail アドレス
ftp> cd /pub/webfiles/Japan/maint
```

上記サービスをご利用いただけないお客様で、修正モジュールが必要な場合には、弊社テクニカルサポー

トまでお問い合わせください。

株式会社 SAS インスティテュートジャパン

| | |
|------------------|--|
| 本社 | 〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ 8F T E L : 03-3533-6921 F A X : 03-3533-6927 |
| 大阪支店 | 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-4-16 アクア堂島西館 12F T E L : 06-6345-5700 F A X : 06-6345-5655 |
| 九州営業所 | 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-14-1 小倉興産 KMM ビル 3F T E L : 093-512-5014 F A X : 093-512-5016 |
| テクニカルサポート | T E L : 03-3533-3877 F A X : 03-3533-3781 |

本文書の内容は予告なく変更されることがあります。

SAS および米国 SAS Institute Inc.の他のすべてのプロダクト名、サービス名は米国 SAS Institute Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他本文中で使用しているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。